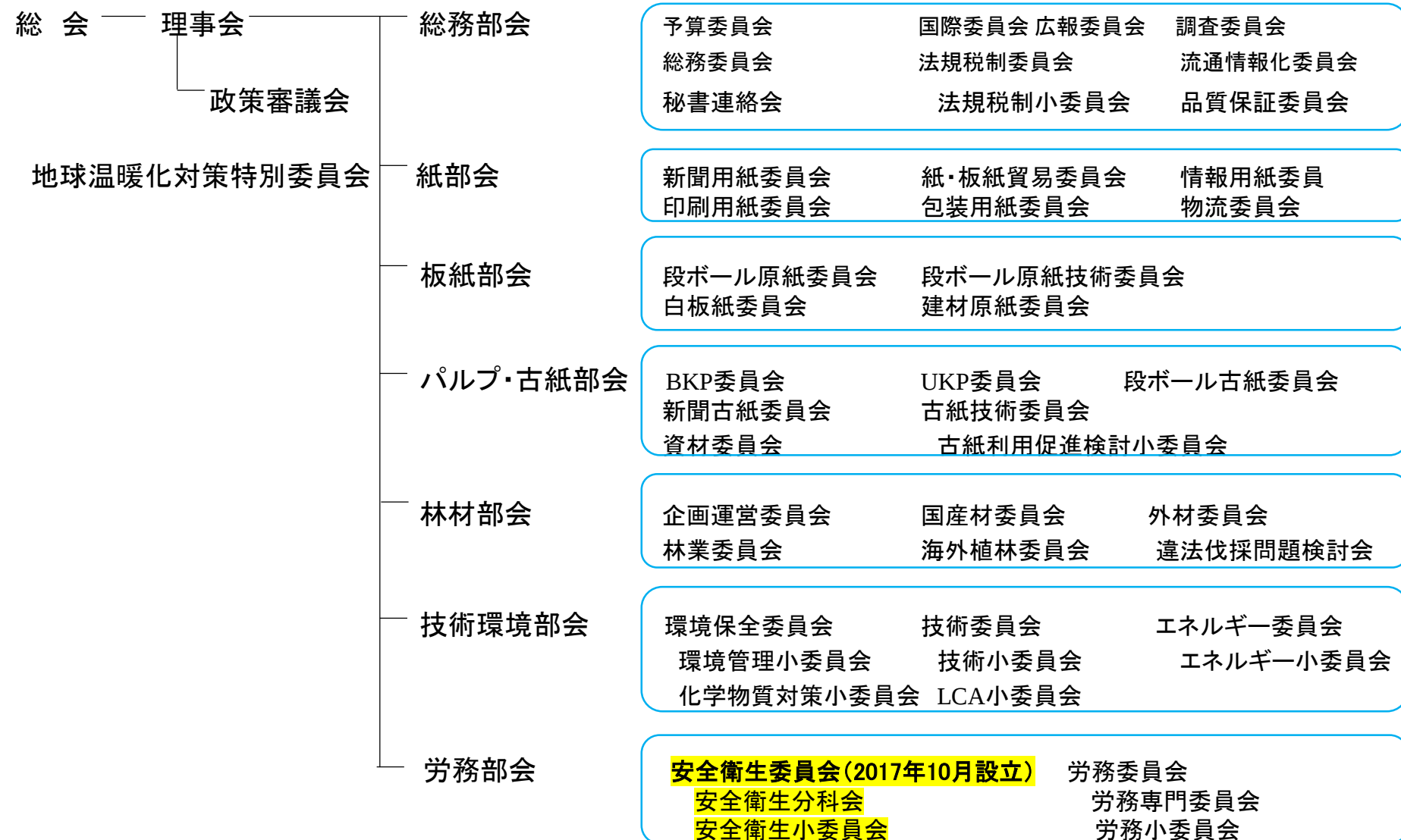


日本製紙連合会の安全衛生活動について

製造業安全対策官民協議会・第5回アドバイザリーボード

2022年9月16日

1.組織



2.労働災害防止に向けた行動計画 ①当連合会の目標

『会員会社およびグループ会社事業場における 死亡災害ゼロ』

「自社の事業場に受け入れる以上、どのような人であっても、無事に入構の目的を遂げ、退場してもらうことが、事業場長さらには経営トップの責任である」との考え方のもと、自社従業員・協力会従業員はもちろんのこと、臨時入構業者等、事業場に常駐しない者も含めた安全管理の徹底をはかり、会員会社の事業場から死亡災害を撲滅することを製紙連合会の究極的な目標とする。

2018年2月20日制定「労働災害防止に向けた行動計画」より

2.2021年安全衛生活動実績と2022年安全衛生活動計画

2021年安全衛生活動実績及び2022年安全衛生活動計画

2022年 7月31日

日本製紙連合会 安全衛生委員会

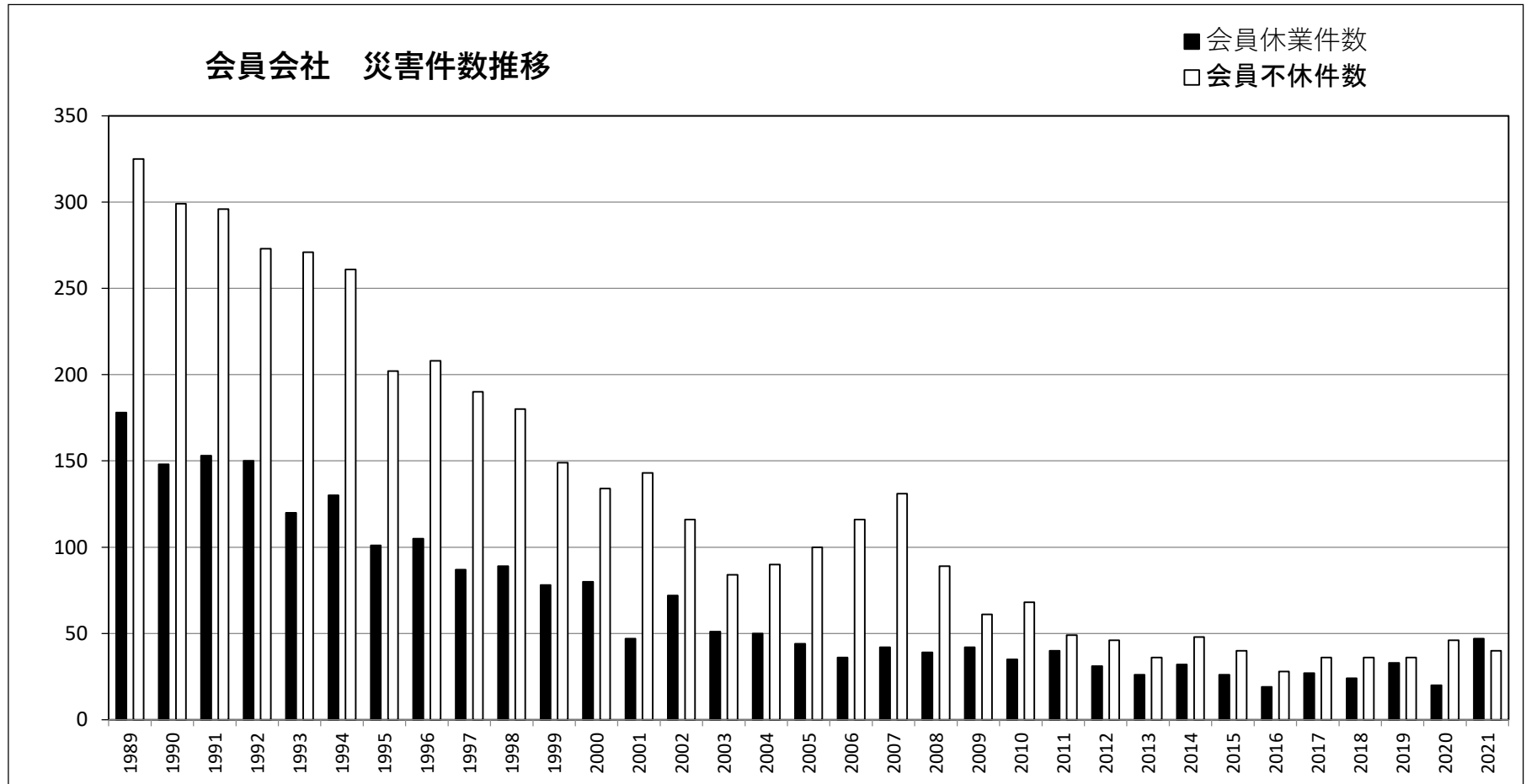
計画：●◀→ 実績：◎◀→ 新規取組：■ ハイブリット開催(H) WEB開催(W) 延期：△ ⇒ 中止：×

取り組み項目		内容	2022/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	※該当する経営理念			
															一	二	三	四
◎製造業安全対策官民協議会		協議会への参画	協議会・WG・SWG・特別セッション(全国産業安全衛生大会)ほか												○	○	○	○
1.恒常的取り組み	(1)死亡災害撲滅活動																	
	①経営トップへの働きかけ	理事会報告	●◎		●◎						●				○	○		
	②紙パ連合との連携	安全大会・合同会合 災害情報の共有	●◎				●◎				●						○	○
	③会員会社・会員への働きかけ	二部会員との情報共有化		●(H)				●(H)			●	●					○	○
	④業界他団体との連携	災害統計等の提供										■						○
	(2)安全衛生委員会の運営		●(H)					●(H)							○		○	
	(3)災害事例の水平展開																○	
	(4)安全統計の作成	月次報告 年度報告	●◎	●◎	●◎	●◎	●◎	●◎	●◎	●	●	●	●	●			○	
	(5)安全衛生分科会の運営		●(H)	●(H)				●(H)				●	●				○	
	(6)全国紙パルプ安全衛生大会の開催	大会・表彰・分科会 安全衛生小委員会 理事会報告		●(H)				●(H)		●		●		●	○	○	○	○
	(7)業界内外への情報発信	HP更新・拡充	●◎	●◎	●◎			●×				●		●				○
	(8)業界内外の知見活用・業界横断的取組	官民協議会 業界他団体(上記)						●(W)			●				○	○	○	○
2.中期的取り組み		(1)製造業元方指針の遵守							●◎				●				○	○
3.将来的取り組み		(1)業界共通の設備安全基準の検討・制定		●(H)				●(H)			●	●				○	○	○
		(2)業界共通の安全衛生教育体系の検討・制定																

※ 神戸宣言「4つの経営理念」(2017年11月9日 於:第76回全国産業安全衛生大会・特別セッション)

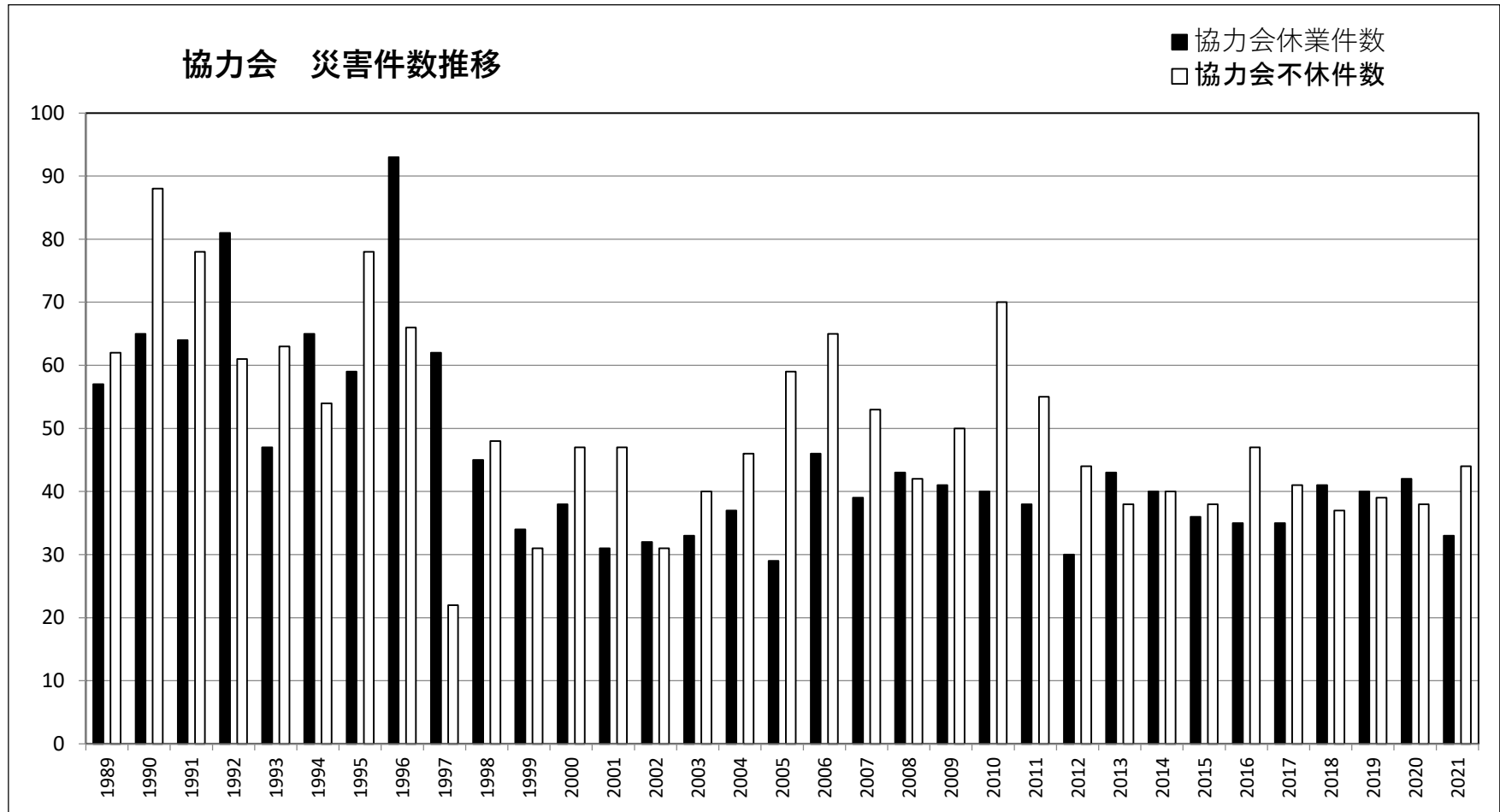
一、経営層がリーダーシップを発揮しつつ、安全担当や製造担当と接触し、かつ、常に現場の声を反映できるような体制の強化
二、設備の老朽化等の厳しい現状がある一方、技術革新を生かした新たな取組も進んでいることを踏まえた、安全への投資の促進
三、ベテラン職員の減少、業務アウトソーシングの増加などの環境変化を踏まえた、階層別、協力会社を含めた安全人材の育成や安全教育の拡充
四、重点的に取り組むべき課題を抽出し、その原因・対策などを検討し、検討結果を業界内外に共有

3.労働災害統計と安全成績 ①会員会社災害件数推移



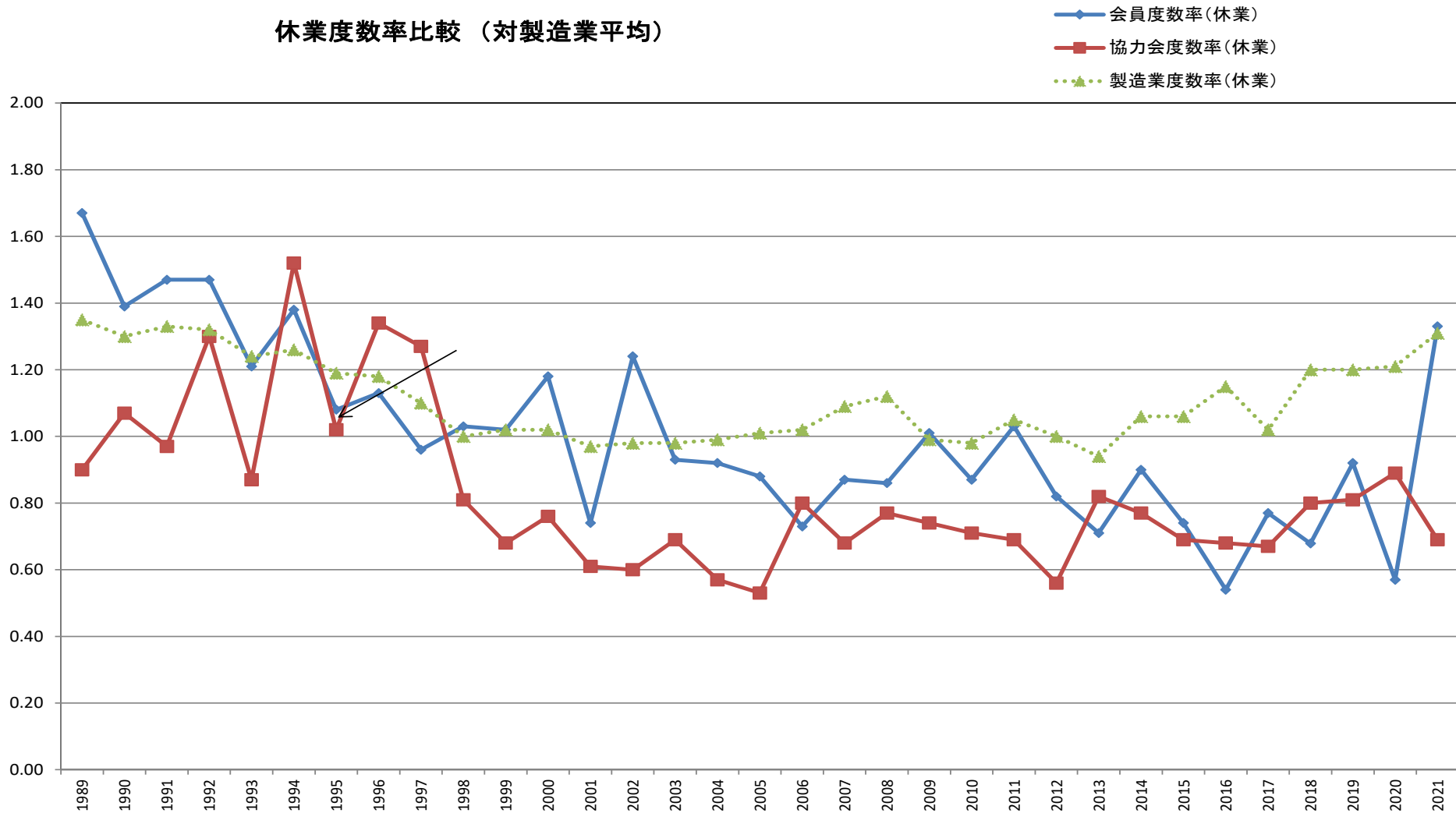
- ・ 2020年：休業20 + 不休業46 = 66件 ⇒ 2021年：休業47 + 不休業40 = 87件
- ・ 休業災害が対前年で倍増

3.労働災害統計と安全成績 ②協力会災害件数推移



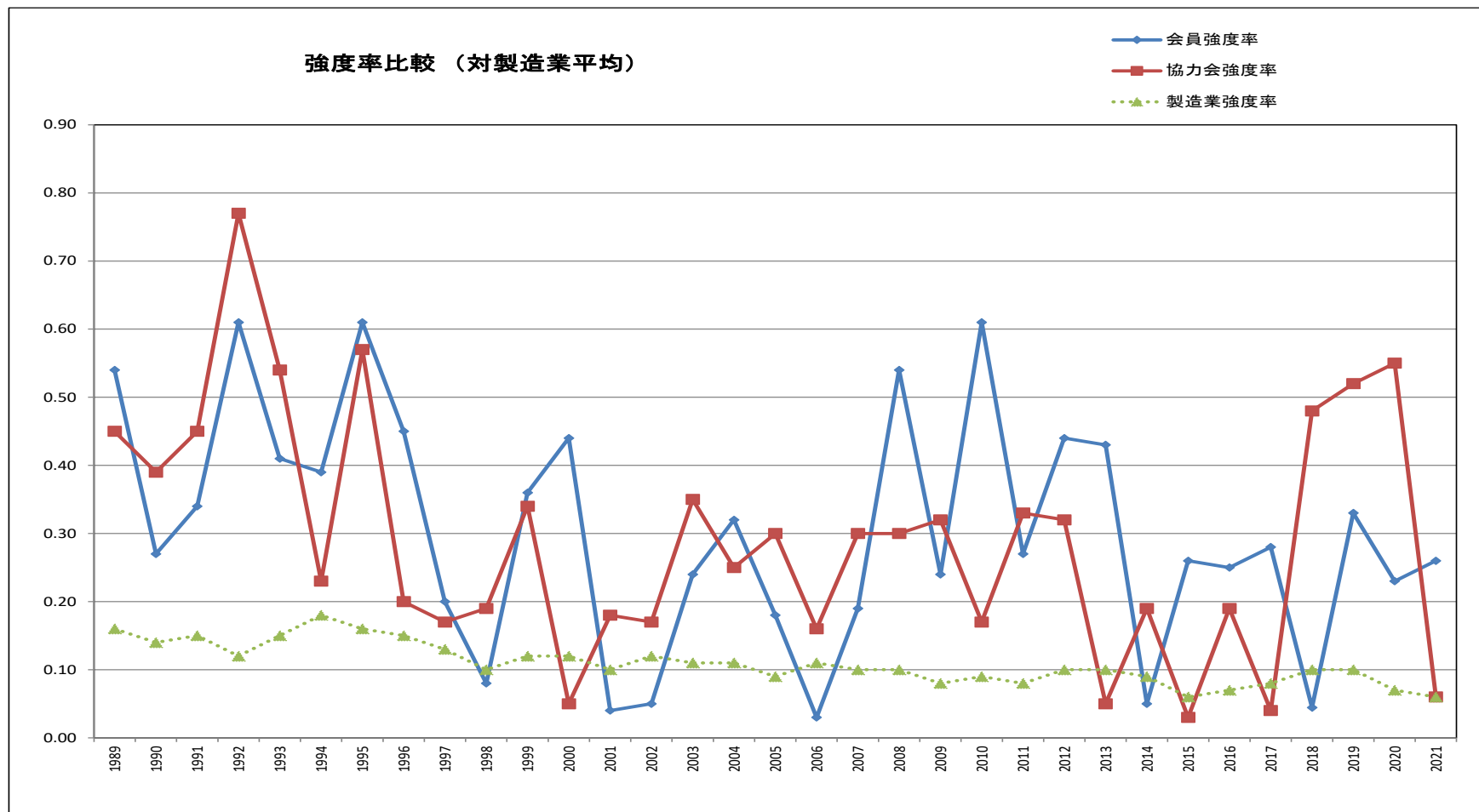
- ・ 2020年：休業42 + 不休38 = 80件 ⇒ 2021年：休業33 + 不休44 = 78件
- ・ 休業災害は、2012年以来の低い水準

休業度数率比較（対製造業平均）



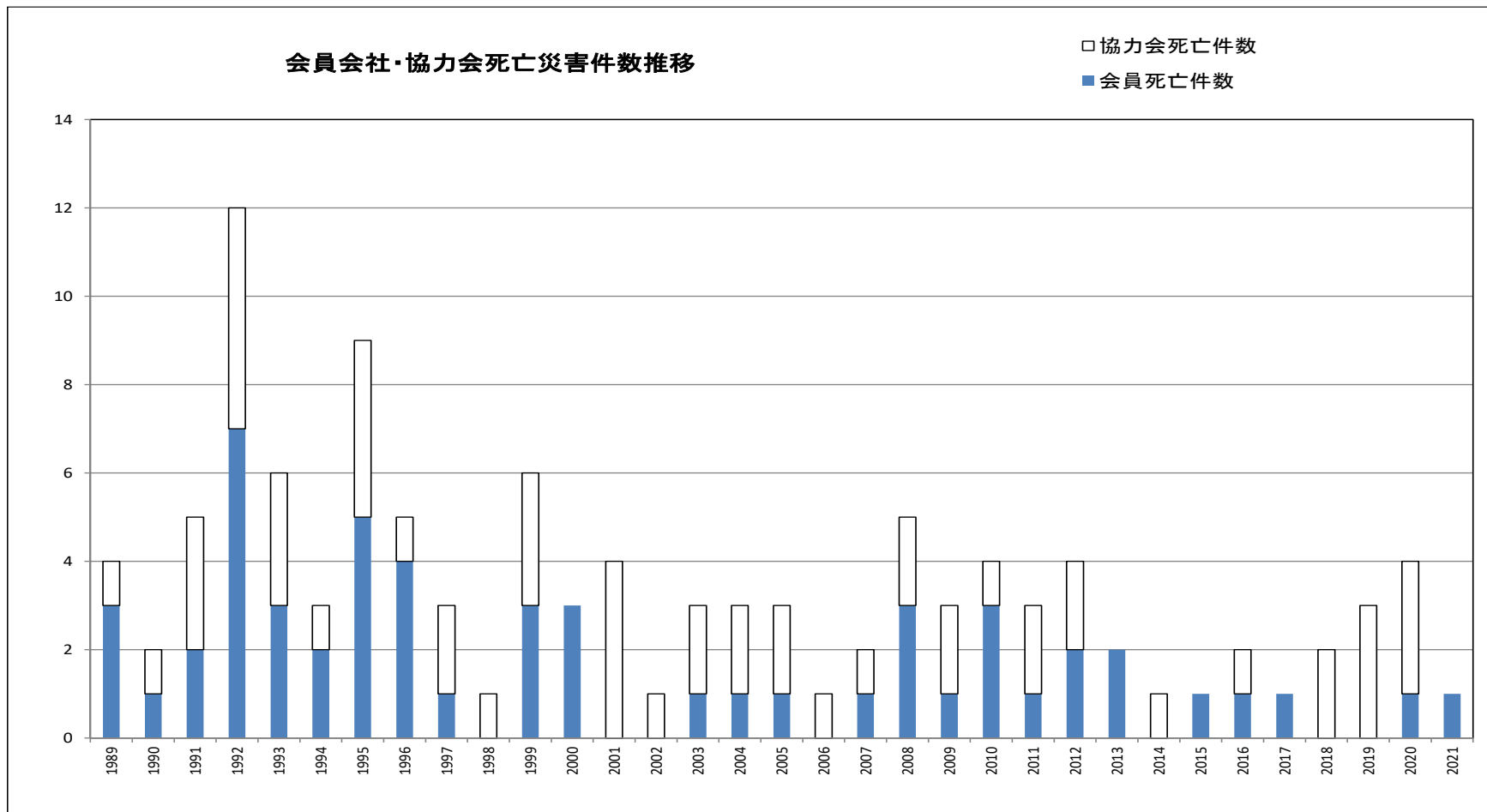
- ・休業度数率については、当連合会の会員会社が、製造業平均を上回った。

3.労働災害統計と安全成績 ④強度率推移



- ・製造業平均よりかなり悪い結果となっている。
- ・死亡災害が発生すると強度率が顕著に悪化してしまう。

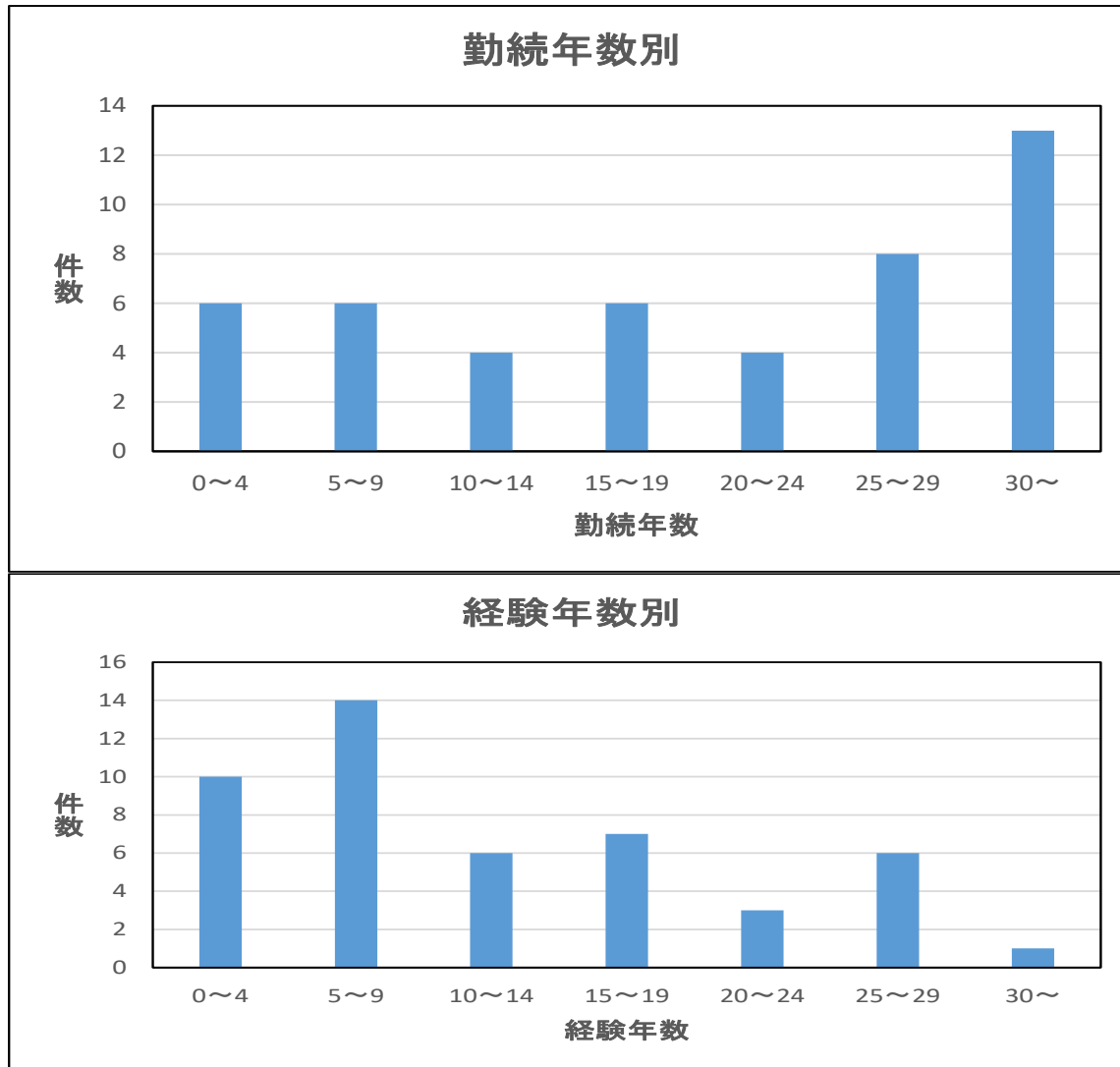
3.労働災害統計と安全成績 ⑤死亡災害件数推移



- ・1962年の統計開始以来、会員会社・協力会ともに死亡災害ゼロという年がない。

・2021年は会員会社で1件発生し、今年（2022年）は既に協力会で1件発生した。

4.労働災害の分析 ①会員会社休業災害発生件数(2021年)



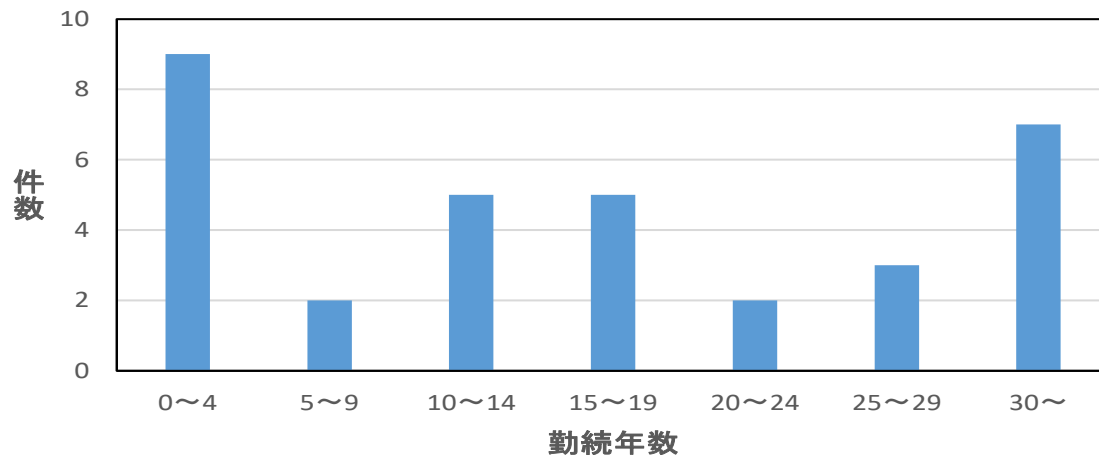
・勤続年数別に見ると、30年以上が最も多いが、経験年数別に見ると、10年未満が多い。

・勤続年数が長く、経験年数の短い配転者の災害が多発している。

・短経験者の安全教育の徹底が必要。

4.労働災害の分析 ②協力会休業災害件数(2021年)

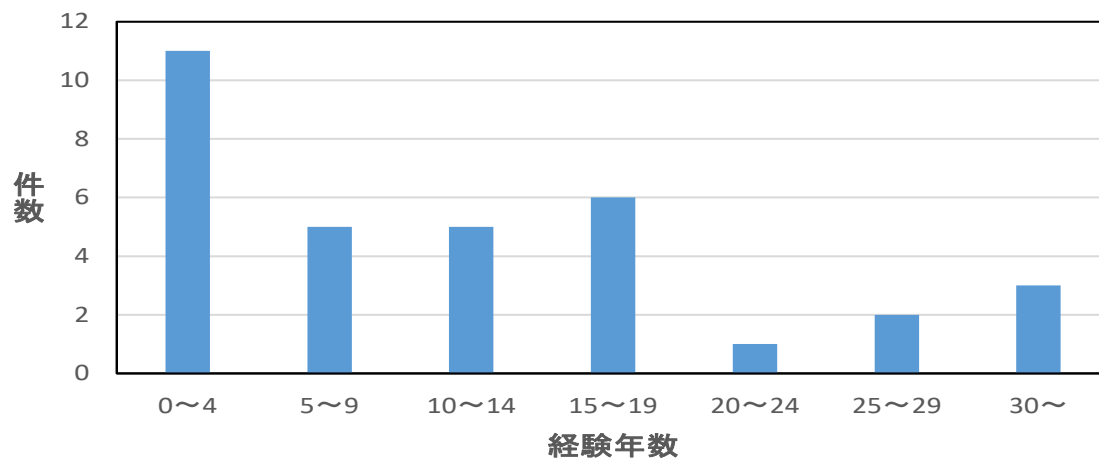
勤続年数別



・ 勤続年数、経験年数ともに5年未満が最も多い。

・ 若手の安全教育の継続実施が必要。

経験年数別



5.安全講演会の開催（2022年）

回数	第1回	第2回
日時	2022年2月18日（金） 15:00～17:00	2022年6月10日（金） 14:45～16:00
テーマ	「機械の包括的な安全基準に関する指針」 に基づく機械の安全化	災害の未然防止とする実践的安全活動
講師	中央労働災害防止協会 技術支援部 専門役 大竹 桂司 氏	王子マテリア(株) 安全・環境管理部 主幹 漆坂 匠 氏
講演形態	WEB形式によるライブ配信	ハイブリット形式によるライブ配信
受講者	30名	27名

回数	第3回	第4回（予定）
日時	2022年9月7日（水） 14:30～16:00	2022年10月21日（金） 15:30～17:00
テーマ	安全活動はマネジメントそのもの ～活かし・つなぐ活動～	未定
講師	安全と人づくりサポート 代表 古澤 登 氏	未定
講演形態	WEB形式によるライブ配信	
受講者	200名程度	

6. コロナ禍における安全衛生対策の取り組み状況

1. 第62回全国紙パルプ安全衛生大会

9月7日、8日に釧路市で開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の増加により現地開催を中止した。3年連続の現地開催中止となった。

安全衛生表彰、安全講演会資料、分科会事例発表資料、災害統計等を掲載した大会資料集を発行した。

また、安全講演会はWEBで開催した。

2. WEBの活用

各種会合、講演会等のWEB化

- ・全国各地からの参加・受講が可能となり、従来に比し参加者数が増加

3. 異業種工場見学等

人の集合や移動が伴う活動⇒開催断念・次年度への延期